

伊那市 官民共創の新しいまちづくり協議会

会議名	第26回 まちなかエリア高度化WG			
開催日	2026年3月25日(水)			
開催時間	開会	18:00	閉会	19:10
開催場所	市役所5階 501会議室			
出席者				
協議会・WGメンバー	会場：黒河内貴氏 OL：政金裕太氏、瀧内貫氏			
事務局・職員	会場：企画部企画政策課 織井邦明課長、有賀慎企画政策課長補佐 村田和也新産業技術推進係長			
関係者				
欠席者	志知貴文氏、鈴木孝之氏、細谷啓太氏、土田智氏			
議事	1、2026年度のまちなかエリア高度化WGの取組について			

議事項目	概要	次のステップ
1、2026年度のまちなかエリア高度化WGの取組について		
リビングラボについて	<p>○WGメンバー</p> <p>ーリビングラボについて説明ー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リビングラボはまちづくりの概念の一つである。タクティカルアーバニズム、プレイスメイキング、リビングラボの3つの概念は重なり合っていて、市民参加型の「手触り感のあるまちづくり」というような意味である。 ・実験的に1日道路を閉鎖し、市民参加で何かをやってみるといった取組が一例である。 ・アメリカのテキサスで関わったタクティカルアーバニズムのプロジェクトは、道路を1本閉鎖して、市民が「ここを安全に横断したい」と思う場所にカラフルなチョークで好き放題に横断歩道を描くといったものであった。 ・プレイスメイキング的なプロジェクトでは、パーキングデイが代表的である。アメリカでは路肩が駐車場になっていることが多く、路肩の駐車区画に1日だけベンチなどを置いて公園のように利用してみる取組である。先日の伊那弥生ヶ丘高校将来活用WGの「対話・つながり・実現の場」でお話いただいた、焼津市の道路に長い人工芝を敷いて自由に活用してみようという取組に近い。 <p>○WGメンバー</p>	

<p>2026 年度のまちなかエリア高度化 WG の取組について</p>	<ul style="list-style-type: none">・伊那北駅周辺再生 WG では、詳細は決まっていないが、今年 10 月頃に伊那北駅周辺で社会実験をしてみようという構想がある。まちなかエリア高度化 WG も会議室から外に出て行こうと話をしているところなので、両 WG が同じ方向の流れになっていると感じている。・先日の伊那北駅周辺再生 WG の「対話・つながり・実現の場」に参加した。グループワークをおこなったすべてのグループから「伊那北駅前に芝生があったらよい」という話があった。また、勉強したり、交流したり、楽器を練習したりする高校生の居場所がないという話がある一方で空き家はあるので、社会実験を行なう日に空き家を借り上げて、何かに活用してみるということではできそうだと感じた。・伊那北駅前の商店でも、伊那北駅周辺のまちづくりの取組を独自に進めていると聞いた。そういった商店の皆さんは、「覚悟を持っていて、お金も出すキーマン」に当たると思う。・そういった店主の皆さんにお話をお聞きし、やりたいことを応援していくことをまちなかエリア高度化 WG の 2026 年度のテーマの一つにしてもよいのではないかと思った。 <p>○事務局 - 2026 年度まちづくり事業予算について説明 -</p> <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none">・前回の WG でもパーキングデイの取組をやってみたいとの話があった。パーキングデイの日程は 9 月第 3 金曜日と決まっているようなので、今年であれば 9 月 18 日(金)になる。だいたい年度の中間になるので、そこを 1 つのターゲットとしてスケジュールを組んでいくのもアリかと思う。・例えばアメリカのパーキングデイでは、どんな方が来て、そこでどんなことをしているのか。	
<p>パーキングデイについて</p>	<p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・アメリカでは、アメリカランドスケープ協会という全米の組織があり、その下に各州の組織、各大学にも支部がある。自分が関わったものは学生が主体となって準備や設営を行なったものである。・道路の路肩を仕切り、そこにプランターに入れた植物、ベンチやスツールを置いたりして、路肩を開放して外で過ごせる空間にしようという内容で、やっていること自体は地味である。	

- ・三菱地所が参画している大丸有エリアマネジメント協会が行なっている「Marunouchi Street Park」という取組では、最初人工芝を使っていたが、現在は天然芝を使っていると聞く。
 - ・フェルモブというガーデンファニチャーメーカーの椅子を置いている例をよく見るが、都会的でおしゃれな椅子ではなくて、伊那らしく、例えば丸太を椅子として置いたり、木で作ったベンチを置いたり、学生が作った椅子を自由に置いてもらう場としてもよいと思う。
- WG メンバー
- ・パーキングデイをやるのであれば、伊那北駅周辺再生 WG の社会実験と同日にやるのも面白い。
 - ・伊那北高校、伊那弥生ヶ丘高校の高校生がどうやったらまちなかエリアにやって来るか、普段郊外店を利用している市民がどうやったらまちなかエリアにやってくるかということを目的として開催できればよい。
 - ・1日の出店料を駐車場の1日の上限額に合わせれば貸し出す側も承諾してくれるのではないか。
 - ・例えば、毎月第3金曜日はパーキングデイを開催することとして、いつ、どこで、どんなお店が出店しているかという情報はネットで見られるようにしておく。その取組を1年間くらい続けてみて、どういうリアクション、フィードバックがあるかを見てみたい。
- WG メンバー
- ・おそらくパーキングデイの手法などは参考となるものがいくらかもある気がするが、いつ、誰が、どこで、どのくらいのペースでやるかということが課題であると思う。
 - ・1年間のパーキングデイの運営をやりたいと言ってくれる人が出てきてくれるのが理想であるが、おそらく難しい。
 - ・すでにまちなかエリアには、マルシェなどを開催してノウハウを持っている方がいるので、そういった方からアドバイスを頂きながら、まちなかエリア高度化 WG メンバーで最初の取っ掛かりをやってみるのが現実的ではないか。
- WG メンバー
- ・まちなかエリア高度化 WG としては何を目的に、どこにゴールを置いてパーキングデイをやればよいだろうか。

○WG メンバー

・何を指すのかという議論をすれば手法が決まるのではない。さきほど話した「普段郊外店を利用している市民がまちなかエリアにやってくるためにパーキングデイをやりましょう」くらいな感じでよい。そこが決まれば、まちなかエリア高度化 WG のメンバーからたくさんアイデアが出てくる。まちなかエリアで何が起きてほしくて、それに対しての社会実験という建付でよい。

○WG メンバー

・目的やゴールは、まちなかエリア高度化 WG が今までやってきた対話の中から出てきたキーワード「歩きたくなる」、「情報が集まる」、「多世代が関わる」といったことにつながると非常に自然であると思う。

○WG メンバー

・「何かをやっている公共空間が点々とあるまちは歩きたくなる」という論法もあるし、お店はまだ開けないけれどやりたいことがある人に、やりたいことができる場所を提供するというのも1つの目的になると思う。

○WG メンバー

・まちなかエリアには活用されていない駐車場や空き地が結構ある。そこに人工芝を敷いて、お店が出店したりして賑やかになることで、「こんな風に活用できるなら結構いい場所じゃないか」と気づいてもらうことも一つの成果ではないか。

○事務局

・松本城三の丸エリアには、「誰かに語りたくなる暮らし」という合い言葉がある。目的やゴールを共有するという意味で「合い言葉」のようなものがあると、取組に統一感が出ると思う。

○WG メンバー

・民地の空き地を借りられれば、ベンチを1か月置っぱなしにして、あったら嬉しい理想の公園像を作るという取組もできる。

・駐車場であれば、定期的に1日貸し出して、マルシェをやっている日、コーヒー屋さんが出店している日があるというフォーマットを作り、将来的には1日の上限額の駐車場代と同額の出店料を支払ってもらうけれど、1年間は社会実験として半額でよいといった取組もできる。

<p>専門家に話を聴くことについて</p>	<ul style="list-style-type: none">・そういった取組によって、いつもまちなかエリアに来ない人が来るようになり、高校生が歩くようになるといったことにつながっていくイメージを持っている。・参加者が自分たちで参加できる状況を作るために、まちなかエリア高度化 WG が1回頑張っただけで基本的なフォーマットを作り、それを見てもらって、2回目以降は自由に使ってもらえるようにしたい。まちなかエリア高度化 WG が毎月頑張るのはしんどい。・早い段階で、公園や公共空間という話ができる専門家からお話を聞ける機会を設けてはどうか。引き続き「作戦会議」をするのもよいと思う。自分たちで考えてパーキングデイをやる前に、専門家から話を聞いた方がよいかもしれないし、お話を聞きに来た方を仲間にしていきたい。 <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・自分の関係するランドスケープ界隈では公共空間の話ができる専門家がいると思うので、そちらに当たってみることはできる。 <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・まちなかエリアの様々なスペースを使い、人が集まることをやろうという方向性は固まったと思う。	
<p>次回 WG の検討事項について</p>	<p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・次回、伊那北駅周辺再生 WG の社会実験に合わせるのか、9月18日(金)のパーキングデイにあわせるのかも含め、2026年度のまちなかエリア高度化 WG の取組の大まかな流れを検討できればと思う。 <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・一旦目標を秋前くらいに定めて、あまり拙速にならずに、世の中のムーブメントを上手に使うって、自分たちで集客しなくてもよい状態を作れるように、十分に作戦を練っていくのがよいと思う。その前段階で勉強会をやって仲間を集めたい。	

■今後のスケジュール

<次回 WG>

- ・2026年4月22日(水)16:30～ 多世代交流の憩いの場 箕輪町防災交流施設 みのわ BASE 2F 会議室
オンライン併用